

「レバノン国電力セクターに係る情報収集・確認調査」の業務受託について

2023年3月2日
株式会社ニュージェック
関西電力送配電株式会社

株式会社ニュージェック（以下、ニュージェック）および関西電力送配電株式会社（以下、関西送配電）は、独立行政法人国際協力機構（JICA）から、「レバノン国電力セクターに係る情報収集・確認調査」にかかるコンサルティングサービス業務を受託し、本日、契約を締結いたしました。

レバノン共和国（以下、レバノン国）は地中海地域とアラビア内陸部の交差点に位置する、岐阜県と同じくらいの広さの国土に約529万人の人口を有する国です。かつて、首都ベイルートは「中東のパリ」と呼ばれ繁栄していましたが、これまでの内戦等によって国家全体のインフラに被害が生じ、レバノン国内の電力供給は1日3～4時間程度となっており、電力の安定供給が望まれています。

レバノン国の電気事業は、主にレバノン電力公社（以下、EDL）が担っていますが、電気事業の運営費は、政策的に低く抑えられた電気料金から賄えず、毎年多額の政府補助金がEDLへと投入されています。近年ではエネルギー価格の高騰による燃料輸入の減少等の要因が加わり、電力供給に深刻な影響が生じていることから、レバノン国政府はこうした状況を改善すべく、電力セクターの改革に取り組んでいます。

本調査において、ニュージェックおよび関西送配電はレバノン国の電力セクターの改革に貢献することを目的に、レバノン国政府とEDLを主な調査対象として、電力政策や電力設備の現状や抱える課題について、基礎情報を幅広く収集します。また、本調査の結果に基づき新たな技術協力の案を策定し、関係者との協議・合意形成を促進します。

今後、ニュージェックと関西送配電は、それぞれの知見と技術力を活かし、レバノン国の電力セクターにかかる問題解決に貢献してまいります。

以上

別紙：「レバノン国電力セクターに係る情報収集・確認調査」業務の概要

「レバノン国電力セクターに係る情報収集・確認調査」業務の概要

【業務概要】

体制： ニュージェック、関西送配電による共同実施

対象地域： レバノン国 首都 ベイルート他

期間： 2023年3月～2023年11月（約9ヶ月）

調査内容： レバノン国における電力セクター概況（発電・送変電・配電）

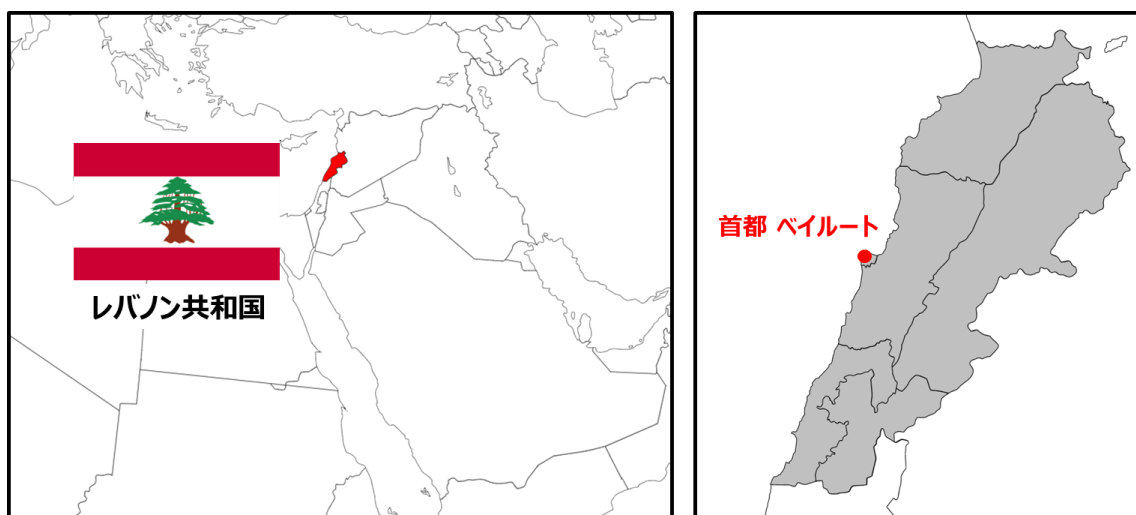
水力発電施設改修に係る情報

水処理施設専用線の整備に係る情報

統合電力マスタープラン策定・実施体制に係る情報

役割： [ニュージェック] 業務主任者・電力開発計画／副業務主任者・電力開発計画／系統計画（送電）／再生可能エネルギー／経済財務分析／水力発電（改修計画策定）／水変電（計画、設計）／環境社会配慮
[関西送配電] 系統計画（配電）

位置関係：



周辺国概要図（左）とレバノン全土（右）

【関係各社の概要】

◇株式会社ニュージェック

代表者： 代表取締役社長 吉津 洋一

設立： 1963年

所在地： 大阪市北区本庄東2-3-20

事業内容（海外）： 土木事業、電力事業における調査、設計、工事監理 等

◇関西電力送配電株式会社

代表者： 代表取締役社長 土井 義宏

設立： 2019年

所在地： 大阪市北区中之島3-6-16

事業内容： 一般送配電事業 等